

# 第一回 大阪府シニアラグビー大会 実施要綱 改訂版

主催 大阪府ラグビーフットボール協会

主管 大阪府ラグビーフットボール協会クラブ委員会

## 1 大会の目的

シニア層のラグビーへ対する意識を盛り上げ、さらなるラグビー人気向上の推進を目的とする。

2 日程 2016年2月21日(日)

3 場所 鶴見緑地球技場

## 4 競技規則

4-1 日本ラグビーフットボール協会制定の「競技規則」による。

ただし、OVER50大会としてのルールは、主管者が指名する諮問委員からのアドバイスを受け、代表者会議で周知する。

4-2 試合時間は別紙の「大会スケジュール表」の通りとする。

4-3 選手入替の際には、入場選手が競技担当へ申告し、競技担当の指示により入場できる。また、OVER50大会であることへの配慮として一度退場した選手でも再入場を認める。

4-4 シンビン・退場

シンビン(一時的退出)の時間は5分間とする。

同一試合で2回目のシンビンを受けた選手はそのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。ただし、次のゲームへは登録を認める。

4-5 メンバー/スタッフ登録表

① 試合当日 8:30 から球技場内で代表者会議を行う。チーム代表者一名が出席すること。

② 上記会議へ当日の「メンバー/スタッフ登録表」を2枚(1枚はコピー)提出すること。

③ 「メンバー/スタッフ登録表」はその場で記載するのではなく、完成された書類を準備し、提出すること。

④ 「メンバー/スタッフ登録表」に適切な人数を記載できないチームがあれば、上記会議で相談・調整し、適切な人数となるように努める。なお、人数の上限は設けない。

⑤ 複数のチームへの登録は認めない。

ただし順位決定戦においては、適切な人数が確保できない状態になったチームがあればその旨を大会本部へ申し出て、相談・調整し、適切な人数となるように努める。

⑥ キックオフ 45 分前から出場選手全員(含:リザーブ)の本人確認とドレスチェックを行う。これを受けていない選手は試合に出場できない。

⑦ 上記の本人確認とドレスチェックは各チーム 1 試合目のみとするが、2 試合目以降から出場する選手の場合は、その選手が大会本部へ申し出ることによって出場できる。

4-6 試合球は【50 才以上の部】へ出場する各チームが 1 球ずつ準備し、試合当日 8:30 からの代表者会議へ持参すること。試合球へは油性マジックでチーム名を明記すること。

4-7 同点でノーサイドの場合

- ① 当該ゲームでのトライ数が多いチームを勝ちとする。
- ② 当該ゲームでのトライ数も同じ場合は、それまでのゲームにおける累計トライ数が多いチームを勝ちとする。
- ③ それでも勝負が決しない場合は、両チームのキャプテンによる「くじ引き」とする。

## 5 参加資格

5-1 生年月日が 1967 年 12 月 31 日以前であること。

5-2 大阪府協会所属の「一般クラブ」として、2016 年 2 月 12 日までにチーム登録を済ませていること。

5-3 大阪府協会所属の「一般クラブ」として登録があるチームで、2016 年 2 月 12 日までに選手登録を済ませていること。

5-4 プレイヤーは「スポーツ安全保険」へ加入済であること。

5-5 上記参加資格を満たす者であれば人数制限なく登録できる。

5-6 自チームで人数を確保できなくても、上記にある参加資格を有する他チームとのコンバインド編成を認める。(3 チーム以上でのコンバインドも同様とする。)

5-7 参加各チームは「第一回大阪府シニアラグビー大会参加申込書」に必要事項を記入し、後述する申込先へメール添付または FAX で提出すること。

5-8 上記参加申込の際、最少 15 名に満たなくても、1 名からでも申し込むことができる。この場合は、管理者がコンバインド先を指定する。

5-9 レフリー・ドクター・アシスタントレフリー・競技担当・記録担当・ボールボーイ・セーフティアシスタントは管理者がアテンドする。

5-10 万が一、未登録の選手を偽って出場させたとき、その発覚時点からそのチームとその選手はこの大会へ参加できない。次年度のこの大会へも参加できない。

## 6 プレイヤーの服装・ジャージの規定・ラグビーマナー

6-1 服装の統一

- ① ジャージはチーム全員統一されていること。ただし背番号の有無および番号の重複には言及しない。これはコンバインドチームにおいても同様とする。
- ② パンツは、50 歳代は紺または黒・60 歳代は赤・70 歳代は黄・80 歳代は紫・90 歳代はゴールドを着用すること。
- ③ ストッキングは統一を義務づけない。

- ④ スパイクについては、固定式のスタッド(一体形成型ゴム底)であれば、鋭い形状の部分や鋭く隆起している部分がない限り、イボ状またはブレードタイプの着用を認める。  
取り外し式スタッドの場合には、ブレードタイプの着用は認めない。
- ⑤ ジャージの損傷・血液の付着に対応するため、スペアジャージを準備すること。
- ⑥ プレイヤーはヘッドキャップの着用を義務づける。
- ⑦ マウスガードを装着することが望ましい。

## 6-2 プレイヤーの着こなし

- ① 選手は下記の着こなしを遵守すること。
  - ・ストッキングはきちんと上げる。
  - ・パンツの上に出たジャージは、パンツの中に入れる。
- ② ドレスチェック時にレフリーおよび競技担当が服装・スタッド等の確認を行う。
- ③ ドレスチェックで不許可となったものを競技区域内で着用していた場合には、その時点で「競技規則」第4条5(C)により退場となる。

## 6-3 ラグビーマナー

- ① グラウンドに集まったすべてのラグビー仲間への敬意と尊敬の念を忘れないこと。
- ② ゴミは会場内のゴミ箱に捨てず、持ち帰ること。
- ③ プレイヤーおよびチームスタッフ以外は観客席で観戦・応援すること。

## 6-4 競技時の諸注意

- ① 試合中、チーム関係者は所定の場所から出ないこと。ゲームの進行と共にタッチサイドを移動して応援したり、指示の声を出したりしないこと。
- ② リザーブ選手およびチームスタッフは上着・トラックスーツを着用するなど、競技中の選手と見分けがつく服装をすること。
- ③ 必ずキックティを用いること。  
キックティは試合5分前に各チームからボールボーイに預けておくこと。

## 7 安全対策・脳震盪の報告義務、その他

- 7-1 大会参加にあたっては、あらかじめ健康診断を受ける等、プレイヤーの健康管理に十分配慮すること。特に、過去に頭部外傷や脳震盪を起こしたことのある者は、脳波検査・CT等を受けさせることが望ましい。
- 7-2 グラウンドで明らかな頭部打撲を認め、その受傷時に応答(意識状態)の異常、あるいは身体活動の異常が認められる者は、すべて競技規則にある「脳震盪」に該当すると考えて退場させる。試合中に脳震盪で退場したプレイヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。

- 7-3 脳震盪を起こした疑いのある、または脳震盪と診断された選手は、必ず“IRB 脳震盪ガイドライン”にある「段階的競技復帰プロトコル(GRTP)」に従って復帰すること。
- 7-4 セカンドインパクト(過去の頭部打撲が後日発症)による重症事故の事例が報告されている。各自、各チームは「安全」が第一優先順位であることを徹底すること。
- 7-5 日本協会の「競技者個人登録(登録者傷害見舞金制度)」および「スポーツ安全保険」の加入手続きに漏れのないよう十分注意されたい。
- 7-6 保険証のコピー・選手の緊急連絡先等はきちんと管理しておくこと。
- 7-7 各チームはと最低限の救急箱と補給用水分を用意し、試合 5 分前に各チームからセーフティアシスタントに預けておくこと。

8 顕彰 優勝チームおよび大会 MOM を表彰する。

## 9 代表者会議および抽選会

日程 2016 年 1 月 23 日(土)18 時～  
場所 サラヤ株式会社本町西ビル 5F 大会議室

## 10 費用

- 10-1 大会参加費 25,000 円 / 1 チーム  
含:グラウンド代 ロッカー他施設使用料 謝礼(ドクター・レフリー・スタッフ)等
- 10-2 上記費用は代表者会議にて徴収する。
- 10-3 試合中に発生した負傷等の事故はチームでの負担とする。
- 10-4 既納の費用は返還しない。

## 11 その他

- 11-1 大会の目的を達成するため、主催者・主管者は積極的なプレスリリースを実施する。
- 11-2 大阪府協会ホームページで参加チーム募集ページを設け、メールでも募集する。

長澤宛、

参加申込みは、mail [over50osaka@yahoo.co.jp](mailto:over50osaka@yahoo.co.jp)

FAX 072-344-5089

申込〆切は 2015 年 12 月 20 日

問合せは、mail [nayoshinp@ymobile.ne.jp](mailto:nayoshinp@ymobile.ne.jp)

TEL 080-4564-1884